

芦北町議会だより



うたせ

第77号

令和6年
8月6日発行



第29回相撲甚句全国大会（5月24日開催：東京都）

祝 全国大会優勝！

3連覇の偉業達成 芦北町相撲甚句会

創造的復興へ！ ～文化の香り高いまちづくり～

令和 6 年 6 月定例議会



6月定例議会が12日に招集され、14日までの3日間の会期で開催されました。初日12日には、1人の議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。

上程された議案は、専決処分の承認3件、一般会計の繰越明許費繰越計算書などの報告4件、令和6年度一般会計補正予算と特別会計補正予算合わせて4件、芦北町奨学基金条例の一部を改正する条例の制定など条例改正が4件、工事請負契約の締結が2件、人事案件の諮問が1件、計18件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

（議案の内容と結果は、5ページに、一般質問の内容は、4ページに掲載）

また、本定例議会最終日には、内野小学校6年生の皆さんが議会の勉強のため傍聴されました。



熱心に議会を傍聴する内野小学校6年生



議長からの紹介を受ける内野小児童

**みなさん
議会の傍聴に
おいでください！**

平成24年10月に就任
され、今回で5期目と
なります。



中原 紀子 氏（田川）

**人権擁護委員
に推薦**

令和 6 年度 一般会計補正予算（第 1 号）

歳入・歳出 **2 億 5,490 万円** 追加

一般会計総額 127 億 8,490 万円

主な事業

- | | |
|---|--------------|
| ○ 定額減税調整給付金事業 | 1 億 4,433 万円 |
| 定額減税しきれないと見込まれる所得水準の納税義務者に対しての支給分 | |
| ○ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 6,173 万円 |
| 予防接種法改正で新型コロナウイルス感染症が定期の予防接種となったことに伴う接種委託料等 | |
| ○ 児童手当支給事業 | 3,841 万円 |
| 児童手当法改正（支給対象の拡充、所得制限撤廃等）に伴う児童手当支給金等 | |
| ○ 保育所等における性被害防止対策設備等支援事業 | 51 万円 |
| 子どものプライバシー保護の為にパーテーション等の購入補助 | |
| ○ 防火水槽解体事業 | 250 万円 |
| 鎌瀬地区の嵩上工事に伴う防火水槽の解体工事 | |
| ○ カンボジア学校建設寄附金事業 | 58 万円 |
| ふるさと応援寄附金における令和 5 年度学校建設寄附金申出件数の確定に伴う補正 | |

令和 5 年度 一般会計補正予算（第 8 号） 専決承認

歳入・歳出 **3 億 438 万円** 追加

一般会計総額 151 億 6,296 万円

主な事業

- | | |
|--------------------|--------|
| ○ 減債基金への積立金 | 3 億円 |
| 将来の起債償還に備えての積立金 | |
| ○ 特別旅費 | 438 万円 |
| 能登半島地震の被災地への職員派遣旅費 | |



被災地で支援業務にあたる本町職員

芦北町は消滅するのか？

人口戦略レポートに全国で744自治体消滅とあるが



楠原清照 議員

質 4月24日に公表された人口戦略会議のレポートによると芦北町は消滅可能性都市（自治体）に分類されているが町長の考えは如何に。

答 竹崎町長

レポートには人口減少は地方に責任があるかのような表現が随所にみられ到底承服できない。東京一極集中是正と国土の均衡ある発展は専ら国の責務である。わが町は子育て支援等少子化対策を強化し、元氣なふるさとを作っていく。人口は確かに減少するが芦北町は安心してほしい。町民の皆様は安心してほしい。

質 サテライトオフィスの現状と将来展望を問う。

答 竹崎町長

IT企業と芦北高校とをコラボさせIT人材の育成と学校の活性化推進によって特色ある高校として存続させたい。

答 釜商工観光課長

本町はサテライトオフィス



サテライトオフィス田浦

に12件の企業誘致が成功しており県内町村トップの実績である。業態は主にIT企業となっている。以下、表1のとおり。

質 介護保険事業の適正な運用と持続可能性を問う。

答 竹崎町長

介護予防を中心にしつかり取り組んでいく。

【表1】サテライトオフィスの現状等

サテライトオフィス計石 (旧計石小学校)	7社入居 (外、1社入居準備中)
サテライトオフィス田浦 (田浦支所2、3階)	5社入居 (外、地元2社入居)

答 池田福祉課長

介護保険料基準額は県内で最も低額の4991円である。これは要介護2、3の割合が低いことに加え介護予防事業の成果の現れであると考え。一方で、認定率は県内7位と高い水準にありニーズに対応した介護サービスの提供にながっている。

質 能登半島地震被災地に対するわが町の支援の現状を問う。

答 竹崎町長

人的派遣については、1月23日から5月末まで17名の職員を派遣した。

答 松本総務課長

活動内容は住家被害認定調査が主な業務。社会福祉協議会からも2名派遣された。その他、町民からの義援金13万4千5百円、ふるさと納税代理受入36万8千4百円を被災地に送金した。



住家被害認定調査を行う派遣職員

令和6年第2回芦北町議会（6月定例議会）審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
承認第2号 承認第3号 承認第4号	専決処分の承認を求めることについて ・令和5年度芦北町一般会計補正予算（第8号） ・芦北町税条例の一部を改正する条例の制定について ・芦北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	—	承認
報告第1号	一般会計の繰越明許費繰越計算書について	地方自治法施行令第146条第2項の規定による報告	—
報告第2号	一般会計の事故繰越し繰越計算書について	地方自治法施行令第150条第3項の規定による報告	—
報告第3号	有限会社あしきたマリンサービスの経営状況の報告について	地方自治法第243条の3第2項の規定による報告	—
報告第4号	有限会社御立岬の経営状況の報告について	—	—
議案第50号	令和6年度芦北町一般会計補正予算（第1号）	概要等は、P3に掲載	可 決 (全会一致)
議案第51号	令和6年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第52号	令和6年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第53号	令和6年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第54号	芦北町奨学基金条例の一部を改正する条例の制定について	積立手続の見直しに伴う改正	
議案第55号	芦北町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	熊本県の補助金交付要領の一部改正に伴う改正	
議案第56号	芦北町御立岬公園条例の一部を改正する条例の制定について	屋外サウナ使用料新規設定に伴う改正	
議案第57号	芦北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	国の運営基準改正に伴う条例の一部改正	
議案第58号	工事請負契約の締結について	予定価格5千万円以上の工事請負契約	
議案第59号	工事請負契約の締結について	予定価格5千万円以上の工事請負契約	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任者と認定	

令和5年度 芦北町議会交際費の公表

議会交際費は、議会活動を円滑に進めるため、外部との交際に要する経費です。
支出については、社会通念上、妥当な範囲で必要最小限に留めるよう配慮しています。

項 目	支出額(円)	件 数	内 容
特産品	27,570	6	町外からの訪問者等に対するPR用特産品
香 典	27,000	2	町の発展・振興に功績があった人等に対する香料や生花代
御 樽	4,000	1	総会、イベント等に対する御樽
会 費	50,000	9	円滑な議会運営に資する会議、研修等への参加に係る経費
御 祝	22,000	1	記念行事・式典・祝賀会等に際しての祝に係る経費
その他	9,900	2	上記の区分に掲げるもの以外で特に必要と認められる経費
合 計	140,470	21	

閉会中の継続調査 「認定こども園すくすく」を訪問

総務厚生常任委員会 委員長 林田 耀宏

5月28日、「認定こども園すくすく」を訪問し、園の概要及び放課後児童クラブ（学童保育）の状況について説明を受け、その後意見交換を行いました。

○ 放課後児童クラブ（学童保育）とは・・・

日中に保護者が家にいない小学生児童に対して、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全な育成を図る保育事業。

【施設概要】

- ▶ 昭和61年12月：「認可外保育施設有児園すくすく」として湯浦地区に開所。
- ▶ 平成17年10月：湯浦地区から現在の場所（芦北地区）に移転。
- ▶ 平成31年 4月：熊本県から認定を受け保育所型認定こども園となり「認定こども園すくすく」と名称変更。
- ▶ 令和 4年 4月：国、県、町の補助を受けて放課後児童クラブ園舎を建替。

【すくすく学童クラブ概要】

- ▶ 利用定員：35名
- ▶ 学童室面積：69㎡
- * 佐敷小校区、湯浦小校区、内野小校区の児童が利用しており、学校の下校時間にあわせて送迎されています。到着後は、宿題・おやつの後、保護者が迎えに来るまで、施設内でそれぞれ自由に時間を過ごしています。



すくすく学童クラブ園舎

【町内における放課後児童クラブの状況】

▶ 町内の放課後児童クラブと利用定員

- | | |
|------------------------|-------|
| ・すくすく学童クラブ（認定こども園すくすく） | 定員35人 |
| ・淳光クラブ（淳光育児園） | 定員13人 |
| ・湯浦児童クラブ（湯浦保育園） | 定員33人 |
| ・田浦児童クラブ（田浦保育園） | 定員35人 |



- * 利用定員については、「放課後児童健全育成事業の設備及び園の概要について説明を受ける委員運営に関する基準」により、児童1人あたり1.65㎡以上の面積が必要と定められています。

▶ 放課後児童クラブ利用者に対する支援事業

芦北町では、令和5年度より低所得者の子育て世帯や多子世帯の経済的負担を軽減し、児童の安全安心な居場所と健全育成の機会を確保することを目的に、「放課後児童クラブ利用者支援事業」として利用料の支援を実施しています。

委員会レポート 総務厚生常任委員会

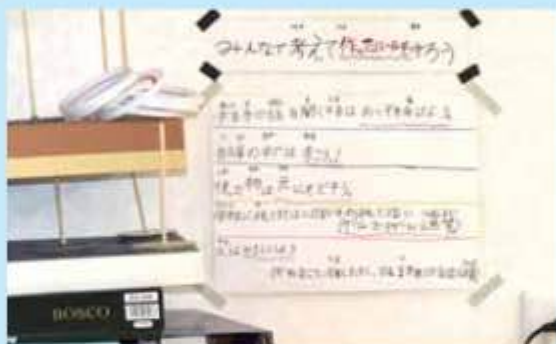
(副委員長) 楠原清照 (委員) 岡部恵美子、川尻成美、元山秀志、百田翔吾

【学童室の様子】

- ▶ 児童一人一人の名前のついたカゴが用意されており、ランドセルなど自分の持ち物が自分で管理できるよう工夫がなされていました。



- ▶ 学童室での「ルール」が見やすく掲示されていました。



【意見交換】

▶ 主な質疑

問 支援員の配置はどうなっているのか。

答 国の基準に基づき、講習を受講した支援員を2名配置している。

問 ケガ等が発生した時の対応はどうなっているのか。

答 看護師を2名配置しており、手当をしたあと保護者等への連絡を行っている。

* その他、学童クラブから、夏季休暇利用時の昼食（弁当）の準備を負担に感じる保護者への対応を課題として挙げられました。



学童室を見学しながら説明を受ける委員

【まとめ】

今回の訪問で、放課後児童クラブの施設や利用状況についての理解をさらに深めることができました。芦北町では、18歳までの子ども医療費の無償化や副食費の助成、学校給食費の無償化に加え、令和6年度からは保育料の完全無償化など切れ目のない子育て支援に取り組まれています。今後も更なる子育て支援の充実が図られるよう、本委員会でも引き続き調査していきます。

閉会中の継続調査 農林水産業振興事業の調査について

建設経済文教常任委員会 委員長 草野 安道



白木工区 計画平面図

5月30日、閉会中の継続調査（農林水産業振興事業の調査）を実施し、芦北東部地区3カ所で計画されている基盤整備事業（土地改良事業）のうち、2カ所（白木工区、大尼田工区）の現地調査を行い、担当課である農林水産課から概要等の説明を受けました。

基盤整備は、農業生産性の向上及び農業構造の改善を実現し、それにより生産コストの低減を図り、食料供給力の確保に重要な役割を果たします。



担当職員からの説明を受ける委員



白木工区計画地の現況

〈 芦北東部地区土地改良事業計画概要 〉

工 区	白木工区	大尼田工区	吉尾工区	計
権 利 者 数	27 名	73 名	52 名	152 名
計 画 面 積	11.6 ha	17.2 ha	11.0 ha	39.8 ha
関係農地筆数	111 筆	195 筆	246 筆	552 筆
計 画 事 業 費	466,000 千円	604,000 千円	681,000 千円	1,751,000 千円
町 負 担 額	46,600 千円	60,400 千円	68,100 千円	175,100 千円

委員会レポート 建設経済文教常任委員会

(副委員長) 白坂康浩 (委員) 寺本修一、宮尾秀行、寺本順一、坂本 登、長口 隆



大尼田工区 計画平面図

以前から基盤整備事業計画はそれぞれの地区でありましたが、令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けたことがきっかけで、事業実施に繋がったとの説明がありました。
令和6年度に換地案の作成及び実施設計を行い、7年度から工事に着工、令和11年度までの6年間の計画期間で事業が実施されます。

〈質 疑 内 容〉

質 疑	回 答
耕作者の平均年齢は。	平均年齢60歳以上、基盤整備で効率的な営農が可能となり新たな担い手が期待できる。
1区画の面積は。	2反から3反を基本に計画する。
田面の高さは。	田面の高さは基本的に同じ、河川沿いの農道の高さを上げることで河川から越水しないような対策を取る予定である。
地元負担の割合及び軽減策は。	基本的な地元負担は5%であるが、農地集積率や新たな担い手の確保など、農地集積への取組割合に応じて最大5%程度の軽減が図られるため、実質0%となる見込みである。
町全体の水田面積は。	町全体では818ヘクタールである。



大尼田工区計画地の一部の現況



担当課の説明を聞く委員の様子

令和2年7月豪雨災害 復旧・復興対策調査特別委員会 委員長 宮尾 秀行

災害復旧事業（建設課関係）
進捗率は**86%!**

県が管理者である「災害関連緊急砂防事業・砂防激甚災害対策特別緊急事業」の湯浦川水系、上平生川1と佐敷川水系、乙千屋川（※共に令和2年7月豪雨時に土石流が発生）の現地調査を行い、工事の概要を確認しました。

各工事現場の状況等については、熊本県芦北地域振興局土木部の工務課職員から説明を受けました。調査の概要等（事業説明・主な質疑応答）は、次のとおりです。

①湯浦川水系、上平生川1（女島地区）

災害関連緊急砂防事業	砂防激甚災害対策特別緊急事業	備 考
・工事用道路 L=90m ・砂防えん堤 H=11.0m L=75.0m ・予算額：2億8,200万円 〈令和5年度完了〉	・溪流保全工 L=110m ・取付水路工 L=90m ・予算額：1億2,500万円 〈令和5年度完了〉	・残工事 ・予算額：3,300万円 工事による家屋等への被害補償 〈現在調査中〉



透水型ダムの構造等について説明を受ける委員

質 疑 応 答



集落から見上げた砂防ダム

問 従来の砂防ダムと比べ形が違うが、この構造物で大丈夫なのか。

答 従来型は管理型ダムで全部せき止め、崩れてきたものを押さえる。今回は、透水型ダムで、「ジャングルジムのような構造物で、流木や大きな石を止め、水はそのまま流す構造である。最大流量調査を行い設計しており、土石流に十分耐え得る。

問 透水型ダムは堆積物の撤去を行うのか。

答 1/3～1/2堆積すると、堆積物の撤去を行う。勾配の関係で管理用道路の設置ができなかったため、クレーンを設置して撤去を行う。

6/3 【現地調査】出水期前、砂防事業箇所の状況は

②佐敷川水系、乙千屋川（乙千屋地区）

災害関連緊急砂防事業	砂防激甚災害対策特別緊急事業	備 考
・管理用道路 L=450m ・砂防えん堤 H=7.5m L=59.0m ・予算額：2億7,100万円 〈令和5年度完了〉	・管理用道路工 L=90m ・溪流保全工 L=120m ・砂防えん堤改築 H=13.0m L=48.0m ・予算額：3億1,900万円 〈令和5年度完了〉	・残工事 管理用道路の橋梁の架け替え 令和6年度補正 〈予算要求中〉



①：新設した砂防ダム（透水型）

②：既設の管理型ダムを改造した砂防ダム（スリット型）

質 疑 応 答

問 上流側の砂防ダムは古いが今回施工したもののか。
答 既設の管理型ダムを改造した。上部の一部をカットし切り下げ、鋼鉄のスリットを設置している。流木が多いので、スリット型が適している。

問 下流に人家等があれば砂防指定はできるのか。
答 土石流発生時に、どの辺まで流れていくかは計算できるので、守るべき住家等が基準に満たす戸数あれば砂防指定できる。



説明を受け現況を確認する委員

町村議会議長・副議長研修会、熊本県関係国会議員への要望

5月21、22日に東京都で開催され、芦北町議会からは宮内議長、元山副議長が参加しました。



葦北郡の議会を代表して
国会議員に要望する宮内議長（右側）

- 5/21 議長・副議長研修会（講演）（参加者：約1,600人）
 演題1：議員のなり手不足は「住民自治の危機」その
 打開の道を探る（講師：江藤 俊昭氏）
 演題2：ハラスメントー自治体職員が注意すべきポイ
 ントー（講師：帖佐 直美氏）
 演題3：将来の地方議会を担うのは誰か？
 （講師：谷口 尚子氏）
 3つの講演内容は、地方議会の重要かつ喫緊の課題と
 言えるテーマで、今後の議会運営において大変参考にな
 るものでした。
- 5/22 熊本県関係国会議員への要望（参加者：約80人）
 県町村議会議長会定期総会で決定した要望事項21件に
 ついて、県議長会会長及び各理事から要望を行い、それ
 に対して出席の国会議員が要望事項の現状と今後の見通
 し等について回答があるなど、有意義な要望活動及び意
 見交換の場となりました。

議会のうごき

- 5月 9日（木） 県町村議長会県知事・県議会への要望活動（熊本県庁）
 14日（火） 町村議会議長研修会、県町村議会議長会臨時総会（ホテル熊本テルサ）
 21日（火） 町村議会議長・副議長研修会（東京国際フォーラム）
 22日（水） 熊本県関係国会議員への要望活動（ホテルグランドアーク半蔵門）
 28日（火） 総務厚生常任委員会（閉会中の継続調査）
 30日（木） 建設経済文教常任委員会（閉会中の継続調査）
 6月 3日（月） 令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策調査特別委員会
 6日（木） 議会運営委員会、議会全員協議会
 12日（水） 6月定例議会開会（一般質問）
 14日（金） 6月定例議会閉会（議案審議）、議会広報委員会
 7月 1日（月） 水俣芦北広域行政事務組合臨時議会
 16日（火） 議会広報委員会
 23日（水） 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会（オンライン）

次の定例議会は9月開催予定です。

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しています。

議会広報 委員会

委員長	楠原 清照
副委員長	長口 成隆
委員	川尻 秀美
宮尾 順一	寺本 秀行
林田 耀宏	

豪雨災害から4年が過ぎました。復旧工事も進捗率が約9割となり、順調に進んでおります。関係者各位の努力の賜物だと思っており、心より感謝申し上げます。

今や異常気象が普通になり、世界中の至る所で寒波・熱波・巨大ハリケーン・干ばつなど地球規模の異変を肌で実感する世の中になってしまいました。

自然と共に生きて来た第一次産業を生業とする人々には特に厳しい時代となりました。国はだっ広い農地のスマート農業だけでなく、中山間地の実状を把握して地方で頑張る人々を本気で支援すべきだと考えます。

一年中で最も暑い時期になりました。もうすぐお盆を迎えます。体調管理を十分に行ってそれぞれの思いの中で、夏を上手に楽しく乗り切りたいものです。（宮尾 秀行）

ちよつと
いっぴく

